

御岳登山鉄道 NEWS RELEASE

御岳登山鉄道株式会社 〒198-0174 東京都青梅市御岳 2-483

TEL:0428-78-8123 FAX:0428-78-8124

22-11

2022 年 8 月 16 日

御岳山上でのイベント 8月28日（日）開催の「夜神楽」に伴い

ケーブルカーを臨時運行します

京王グループの御岳登山鉄道株式会社（本社：東京都青梅市、社長：鎌田政信）では、2022年8月28日（日）に武蔵御嶽神社（宮司：須崎裕）が主催する「夜神楽」の開催にあわせて、下記の通りケーブルカーを臨時運行いたします。なお「夜神楽」は6月～11月までの毎月第4日曜日に開催され、今年3回目の開催となります。

標高929メートルの御岳山山上に鎮座する武蔵御嶽神社神楽殿で行われる夜神楽をこの機会に鑑賞されてみてはいかがでしょうか。

記

【夜神楽の日程】 2022年8月28日（日）、20時開演、21時終演予定

※今年度の次回以降の夜神楽は9月25日（日）、10月23日（日）、11月27日（日）に開催予定です。（上記開催日もケーブルカーの臨時運行を行う予定です。）

【開催場所】 武蔵御嶽神社神楽殿

【ケーブルカー】 行き帰りの2本臨時便を運転

行き：滝本駅 19時00分発

帰り：御岳山駅 終演にあわせて21時30分頃発

【交通】

●電車・バスのお客様

臨時ケーブルカーに接続するJR御嶽駅行のバスはございませんのでご注意ください。御岳山山頂には宿坊が2軒ございます。宿泊に関するお問合せは「御岳山観光協会」のHPをご覧ください。

●お車で越しのお客様

滝本駅駐車場は通常19時閉門ですが、臨時ケーブルカー運転にあわせて臨時営業（21時45分頃閉門）します。宿坊にご宿泊で、滝本駅駐車場をご利用の場合、1,000円の割引がございます。駐車券を宿坊にお持ちになり証明印を貰い、出庫前に滝本駅のスタッフに駐車券をご提示いただきますと割引認証をします。

【お問合せ】 御岳登山鉄道㈱ TEL0428-78-8121（9：00～17：00）

【その他】感染症拡大の状況次第ではイベントの中止、または予告なく臨時ケーブルカーの運転を見合せる場合がございます。また体調がすぐれない場合、外出をお控えください。

2ページ目に続きます

【参 考】

●太々神楽について

武蔵御嶽神社の太々神楽は、昭和 32 年に東京都無形民俗文化財の指定を受け、現在社家三十一戸の世襲により二百数十年間伝承されています。素面神楽（すめんかぐら）と面神楽（めんかぐら）に大別され、寛延 2 年(1749)に神吉田流の素面神楽が、安永年間(1780 頃)に江戸眞先稻荷より里神楽系統の面神楽が伝えられました。現在素面神楽は奉幣（ほうへい）・剪（きり）・大散供（だいさご）の 3 座を残すのみで、面神楽は 13 座が受け継がれています。太々神楽は最も正式な参拝の方法として、大神様の御神慮をお慰め申すために奏上されますから、神様に向かって演じられます。拝観の皆様は、神様と共に楽しくご覧ください。

【今 回 の 演 目】※演目が変更する場合もございます

●奉幣（ほうへい）

素面の神楽に分類されますが、現在は翁の面を付けて舞います。舞台の中央と四方に 幣（みてぐら）を捧げる神楽で、能の三番叟のように最初に必ず演じて舞台を祓い清めます。

●鯛釣り

恵比寿様（えびす）と潮吹（しおふき・ひょつとこ）のやりとりを滑稽に表現した神楽です。恵比寿は記紀に出てこない神であるため、古くから記紀の中に該当する神を探し出す説がいろいろありました。蛭子（ひるこ）事代主神（ことしろぬしのかみ）、少名比古那神（すくなひこなのかみ）、火々出見命（ほほでみのみこと・山幸彦）等の諸説がありますが、全国の神社では蛭子説と事代主神説が圧倒的に多いようです。そのためこの神楽は釣り好きの事代主神を題材にした物か、または神楽「海神」の一部を抜き出した舞なのか定かではありません。

ストーリーは、釣りをしようと恵比寿様が登場、そこに潮吹が出てきます。潮吹は恵比寿様に教わりながら釣りをし、大きな鯛を釣り上げます。その鯛を調理し二人で酒宴を催すという単純なストーリーの神楽です。また、この舞にはアドリブが多く、潮吹は客席に降り、お客さんも神楽に巻き込みますので、その際はご協力をお願いします。

一時間くらいかかる非常に長い演目なため、滅多に上演することがなく、絶えてしまうことを危惧して今回は若手育成のためあえて上演することに致しました。どうか最後までご覧ください。途中潮吹が客席に向けて釣り糸を垂らします。その際は釣り針に奉納の鯛を付けてあげて下さい。神楽伝承にご協力を賜りますようお願い申し上げます。

●山の神

醜女の面をつけ杓子と鈴を持って、神楽の最後に必ず演じる舞です。神の名は磐長姫（いわながひめ）といい、天孫邇々杵命（ににぎのみこと）の妃となった木花咲耶姫（このはなさくやひめ）の姉神にあたります。磐長姫は妹神と違い不美人な神様でしたが、大変な働き者の長寿をもたらす神でした。神楽は大嘗会（だいじょうえ）で神々に御食を奉る舞といわれ、最後に神楽に供えた餅を皆様に投げ頒ちます。無病息災のご利益ある餅ですので、ご家族皆様でお召し上がりください。



今回演じられる奉幣



臨時運行する御岳山ケーブルカー

このニュースについてのお問い合わせは、御岳登山鉄道株式会社

【☎ 0428 - 78 - 8123 山本】までお願い致します。

このニュースは下記のところに配布しています。

●市政記者クラブ（立川） ●新聞社支局（立川・八王子・青梅・福生）